

議長／皆さんおはようございます。

ただ今より、平成 26 年 6 月武雄市議会定例会を開会いたします。

これより直ちに、本日の会議を開きます。

市長から提出されました、第 40 号議案から第 47 号議案まで 8 議案と報告第 3 号から報告第 12 号までの報告 10 件を一括上程いたします。

本日の議事に入ります前に、去る、5 月 28 日に開催されました、全国市議会議長会第 90 回定期総会において、永年勤続表彰を受けられました議員に対して、ただ今から、表彰状の伝達式を行いたいと思いますのでその間、暫時休憩いたします。

* 休憩中 10:01 *

休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、本日の議事に入ります。

日程第 1 会期の決定を議題と致します。

本定例会の会期等に関し、議会運営委員会に諮問をいたしておりましたので、これに対する議会運営委員長の答申を求めます。

山口昌宏議会運営委員長。

山口昌宏議会運営委員長／皆さん、おはようございます。

平成 26 年 6 月武雄市議会定例会の招集に基づきまして、議長から諮問がありましたので、5 月 30 日、議会運営委員会を開催し、協議いたしました結果についてご報告を申し上げます。

議長から諮問がありました事項は、第 1. 会期及び会期日程について、第 2. 付議事件の審議順序及び委員会付託の要否について、第 3. 一般質問の質問順序について、以上、3 項目でございます。

本定例会において審議すべき議案等は、ただいま議長から上程になりました、条例議案 2 件、事件議案 2 件、予算議案 4 件、報告 10 件の計 18 件でございます。

なお、追加議案として、専決処分承認 2 件、事件議案 2 件、予算議案 1 件、人事案件 1 件が予定されております。

以上の件について、協議いたしました結果、議案の審議順序及び委員会付託の要否についてでございますが、審議順序は議案番号順に行い、議案の委員会付託については、第 44 号議案 平成 26 年度武雄市一般会計補正予算(第 1 回)につきましても、所管の常任委員会に分割付託することとし、その他の議案については、所管の常任委員会に付託することに決定いたしました。

次に、一般質問は 16 名の議員から 63 項目の通告がなされております。

抽選結果は、お手元に配付のとおりで、質問順序は抽選番号順に、9 日から 12 日までの 4

日間、それぞれ4名で行うこととし、いずれも午前9時開議とすることに決定いたしました。

また、質問時間につきましては、答弁を含めて90分であります。

以上のことを考慮し、検討いたしました結果、会期は本日2日から19日までの18日間が適当である旨、決定をいたしました。

なお、日程等の詳細については、お手元に配布のとおりであります。

以上で議長の諮問事項に対する答申を終わります。

議長／お諮りいたします。

会期の決定につきましては、ただいまの議会運営委員長の答申のとおり、本日2日から19日までの18日間と決定をいたしたいと思っております。

これにご異議ございませんか。

ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日2日から19日までの18日間とすることに決定いたしました。

日程第2会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、武雄市議会会議規則第88条の規定により、2番 猪村議員、5番 浦議員、8番 石丸議員の以上3名を、指名いたします。

日程第3議長の諸報告を申し上げます。

議長の諸報告については、お手元に配付いたしております、文書をもって、報告にかえさせていただきます。

日程第4市長の提案事項に関する説明を求めます。

樋渡市長。

樋渡市長／おはようございます。

まずこの8年、スピードオープンを含むということを主眼に取り組んで、議会の皆さん、市民の皆さんのおかげで一定の成果があがっています。

本日は、福島県のシナガワマサト郡山市長も傍聴にお見えになっています。

こういう先進的な市と色々な施策をこれからも取り組んでまいりたいと思っております。まず武雄市図書館についてであります。

ゴールデンウィーク期間中の去る5月5日、昨年4月1日のリニューアルオープンから約1年間で、入館者100万人を突破いたしました。

当初の私たちの予想を、大幅に超えるスピードで、旭山動物園、金沢21世紀美術館と並ぶ「奇跡の公共施設」の仲間入りができたと認識をしております。

この間の武雄市図書館のリニューアルによる経済効果は20億円超であります。

また、これとは別に、武雄市図書館がテレビや新聞、雑誌などさまざまなメディアでとり

あげられた効果は10億円と試算されています。

今後は単に数字を生むのではなく、これまで以上に利用者目線に立った、利用者視点に立った運営に努め、市民価値の更なる向上、市民福祉の維持向上に努めてまいります。

2番目は武雄市への誘客についてであります。

武雄市は観光都市であります。

人の往来なくして、武雄市の未来はありません。

昨年度の市への行政視察は、501組、4538人にも上り、就任前の8年前と比べれば、その数は実に42倍となっております。

前年からも約4倍となり、その経済波及効果は7500万を越えております。

また3月には、佐賀県初となる女子プロゴルフツアー「Tポイントレディースゴルフトーナメント」が武雄市で開催され、その来場者は1万人を越え、経済波及効果も約1億円と試算されています。

さらに先月は、第72期名人戦で森内俊之名人と、羽生善治三冠が対局をされ、1000人近くの方がご宿泊いただき、これらも約1500万円の経済効果が出ています。

こうした武雄市への誘客の取り組みは、市財政にも当然好影響を与えており、400億円に積み上がった借金を、315億円に減らし、33億円の基金を、71億円にできた一因だと認識しております。

このように現在、武雄市には全国からさまざまな目的で多くのお客様に足を運んでいただいている状況にあります。

また、その満足いただいたお客様の口コミで、さらに新たなお客様にお越しいただくという好循環が生まれており、今後も心のこもったおもてなしを心がけ、この好循環の輪を広げてまいりたいと考えております。

次は、公教育改革についてであります。

3期目のテーマは「教育」であります。

4月1日には、そのエンジンとしてスマイル学習課を立ち上げ、まずは市内小学校11校、全ての小学生2849人に、タブレットを貸与し、5月からは、スマイル学習（反転授業）を開始をいたしました。

4月17日には、自立と魅力ある大人に育てあげることが教育ビジョンに掲げ、初等教育において数多くの実績を有する花まる学習会との連携による、官民一体型学校の創設を発表しました。

花まる学習会については、今朝の佐賀新聞に特集をされております。

10月には協定締結を予定しております。またこの学校づくりを円滑に進めるため、東京都発の民間人校長として和田中学校の校長を努められた藤原和博氏を、武雄市特別顧問として就任いただき、指導をいただくこととしています。

明治5年の学制公布以来、140年以上続いた一方通行型教育、一斉授業、そして金太郎飴を大量生産するような教育への真っ向からの挑戦として、お互いに学びあう教育、生き抜く

力、学力がつく小学校づくりに取り組んでまいります。

楽しく学ぶ。

すなわち、世界一行きたい小学校を武雄市から創設をする。

これをぜひ、市議会の皆さんたちとともに力強くつくりたいと思います。

そしてメシが食える魅力的な大人をこの武雄市から育てていく。

そういう覚悟で 臨んでまいりたいと思っています。

次はお住もう課についてであります。

1期目は、フジテレビドラマの「佐賀のがばいばあちゃん」の誘致に代表される、知ってもらおう。

2期目は、図書館やさまざまなイベントによる来てもらうための施策を行いました。

3期目はこれをさらに進め、多くの方に、今度は武雄に住んでももらうための、定住促進策を進めるとしており、4月1日にお住もう課を新設しました。

2期目に設置したお結び課は、古川課長の頑張りで、市民の出会い場をつくるという明確なミッションを掲げ、48名の方の結婚に結びつけることができました。

お住もう課もお結び課と同様、なんだか混乱しそうですが、明確なミッションを設定し、具体的な成果を上げるよう取り組みを進めてまいります。

私が定住促進を進めるのは、単に避けられない人口減少に歯止めをかけるという意味ではなく、むしろ多様の人々が集い、交流し、影響し合うことで生まれる新たな価値や、幸福感があると確信しているからであります。

ぜひ、こうした積極的な目的を持ちながら、定住促進に努めてまいりたいと考えておりますので、今度の一般質問でも、さまざまなご意見をお寄せいただければありがたいと思います。

終わりになります。

先の選挙の結果により、新たに4人の議員が市議会の仲間入りをされました。

全員の皆さんが、それぞれの市民のご期待を胸に、この議会にのぞまれていると考えております。

私もこの間、議員の皆さん、市民の皆さんと膝をつき合わせてじっくり話ができて、その期待に応えるべく、新たな思いで3期目に取り組んでまいります。

私自身、姿勢を預かる身として、再度その重責を担うことになりました。

市民の皆さまたちにとって日本一の市と思っていただけるよう、さまざまな課題に、聖域なく、スピード感を持って、邁進してまいります。

そうは言っても、今までこの8年間、相当遠慮をしておりました。

これからは、正副議長、議運の委員長を初めとする市議会にさらにご指導をいただきながら、力を尽くしてまいります。命をかけて取り組んでまいります。

よろしくお願いを申し上げまして、私の所信表明にいたします。

6月議会、よろしくお願ひいたします。

議長／前田副市長。

前田副市長／おはようございます。

つづきまして、私のほうから今期定例会に提出しております議案について、その概要をご説明申し上げます。

まず、条例議案でございますが、一部改正条例2件を提案しております。

武雄市税条例等の一部を改正する条例につきましては、地方税法の一部改正に伴い、軽自動車税等の税率の見直し等を行うものでございます。

続きまして、武雄市地方金消防団員退職報奨金支給条例の一部を改正する条例については、消防団員等の公務災害補償等、責任、調整等に関する法律施工例の一部改正に伴い、消防団員の退職報奨金の額を見直すものです。

次に事件議案です。

武雄北方インター工業団地線の終点の変更に伴う、指導路線の変更について及び伊万里消防組合が、新たに加入するための、佐賀県、市、町、総合事務組合を組織する地方興行団体の過度の増加及び、同組合規約の変更に掛かる協議について議会の議決をお願いしています。

続きまして、予算議案について説明します。

今回の補正は、今年4月が市長改選期であったために、当初予算を骨格予算として編成しており、政策的な提出を骨格予算に提示していなかった経緯について、位置づけをしております。

また、当初予算編成後に早急に対応が必要になってきたものについて、掲示をお願いしています。

それでは、一般会計補正予算第1回について説明します。

一般会計の補正予算額ですが、10億9668万4000円を追加しています。

これにより、補正後の予算額は228億5449万4000円となり、対前年度比、昨年6月と比較して、8601万7000円の減で、0.4%減となっています。

補正予算の主なものは、道路、街路樹の整備事業費、6億5968万7000円、官民一体型学校の創設に向けた経費、325万5000円、園芸等に関わる補助金、6580万円、老人クラブ等の設備に対する補助金、3867万5000円を計上しています。

そのほかの補正予算については、下水道事業の特別会計予算、それから競輪事業特別会計予算第1回、給湯事業特別会計補正予算、3つの特別会計予算もお願いしています。

そのほかに、平成25年度、一般会計継続費繰越計算書等の報告について、1件の報告をしています。

以上で議案の概要の説明を終わりますが、よろしくご審議をお願いします。

以上です。

議長／日程第5 教育長の教育に関する報告を求めます。

浦郷教育長。

浦郷教育長／おはようございます。

教育に関する報告を申し上げます。

教育を取り巻く、環境の急速な変化の中、教育には、一人ひとりが豊かな人間性を培い、生涯にわたって、自ら学ぶ意欲を養うなど、生きる力を育むとともに、心身ともにたくましい、人間の育成が、求められています。

本市の学校教育において、今年度は、大きな改革の、年となります。4月に、全国初となる、市内全小学校全児童に、タブレット端末を配布し、5月より算数、理科の授業に、スマイル学習（武雄式反転授業）を取り入れています。

子どもたちの、学習意欲の向上・学力の向上につながるよう、全学校の総力で、前に進んでいきたいと、考えています。

また、4月17日に、文部科学省で記者発表を行い、官民一体型の、学校づくりを「花まる学習会」と連携して行う方針を、全国に公表しました。

今年度は、武内小学校を、研究開発校に指定して、公開授業を、実施するとともに、地域の方々、保護者の方々へ、出来るだけ、数多くの説明会を行い、来年度からの、本格実施に向け、地域と学校が、協力していきたいと、考えております。

本年度における、教育の方針としましては、こういったことをふまえ、5つの基本目標を、設定しております。

基本目標の1つ目は、『知・徳・体の調和のとれた子どもを育む学校教育の推進』であります。

「学力の育成」につきましては、4月22日に行われた「全国学力テスト」の分析・検証等を行い、学力向上に、生かしていきます。

また、電子黒板や、タブレット端末等の、ICT機器を活用した指導に、引き続き積極的に、取り組んでまいります。

土曜日等の開校について、昨年度は、全小中学校での、土曜日等の半日開校を、年10日程度行いました。

今年度も、学力向上と共に、保護者や地域の方々が、参観できる授業として、家庭や地域との連携強化に、取り組んで、まいります。

「豊かな心」、「たくましい身体」の育成を図るため、不登校やいじめ・問題行動への対応、特別支援教育の推進、スーパー食育スクールへの取組を中心とした、食育の推進に、努めます。

2つ目は、『生きがいを高める生涯学習・生涯スポーツの推進』であります。

市民の皆様が、生涯にわたって、学習機会を選択し、豊かで、生きがいのある生活を、送

ることができる、環境づくりに、努めてまいります。

図書館につきましては、5月5日に、100万人の来館者を、達成しております。

今後も、さらに利用され、満足されるような、図書館を、目指してまいります。

保健体育部門では、充実したスポーツ活動が実践できるよう、その機会や、情報の提供に努めてまいります。

今年は、第67回県民体育大会が、本市を主会場として、10月25日、26日に開催されます。

市内では、サッカー、バレーボール、軟式野球、相撲、ソフトボール、バドミントン、ボウリング、ゴルフが行われます。

市民の皆様におかれましても、応援や支援をお願いいたします。

3つ目は、『明日につながる伝統文化の継承と多彩な文化の創造』であります。

武雄の歴史と文化の土壌を守り、さらに発展・向上を図るため、市民の皆様が自ら参加し創造する、文化活動の育成・支援を行ってまいります。

その一つとして、文化遺産を生かした地域活性化事業では、文化庁の補助により、4年間で約1000万円の事業が、市民団体によって行われており、今年度も、継続して支援してまいります。

また、おつぼ山神籠石をはじめとする、史跡等につきましては、文化財に対する、市民の皆様への理解をいただきながら、保護に努めてまいります。

なお、市が所有している、1万6000余点に及ぶ、武雄鍋島家資料のうち、江戸後期から、明治維新时期にかけての、2224点が、3月18日の文化財審議会において、非常に貴重な歴史資料として、重要文化財に指定するよう、文部科学大臣に答申されたことを、報告いたします。

4つ目は、『安全・安心な教育環境の整備』であります。

子どもたちの健やかな成長のために、安全・安心な教育環境整備、学校施設の、計画的な、整備を進めます。

山内中学校、武雄小学校、武雄中学校の校区の皆様方には、建設中多大のご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますよう、お願いいたします。

5つ目は、『市民総参加による教育の推進』であります。

本市ならではの教育風土を生かし、更なる市民協働による、教育活動を展開するため、3つの重点事項を掲げ、指導や支援を進めてまいります。

教育の振興は、教育理念や制度の確立、具体的施策の実施だけで、達せられるものではなく、保護者の皆様、市民の皆様の信頼の上に成り立つものだと考えます。

その信頼を、構築するために、校舎建設等安全な、教育環境の整備、学力テスト結果の公表、ICT教育環境の整備、教職員の資質向上など、市長部局の皆さんの後押しと、議会の皆様のご理解とご支援をいただきつつ、推進してまいりました。

今年度も、教育関係者はもとより、市民の皆様の参画と協働をいただきながら、心の通った、市民総参加による、教育のまちづくりに努めてまいります。

以上、本年度における、武雄市教育の、基本方針及び重点目標等について、申し上げました。

今後とも、さらなるご支援・ご協力をお願い申し上げまして、教育に関する報告とさせていただきます。

議長／以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。

どうも、お疲れ様でした。